

兵庫県保険医協会尼崎支部 第105回医療と福祉を考える会  
医療と介護の勉強会 i-kai 共同開催

医療・看護・介護にかかわるすべての人に知ってもらいたい

知っているようで知らない

# 介護ベッドの選び方と使い方

日時 **6月27日(木) 18:00~19:30**  
会場 **アマルネス・ガーデン 5階 TEL:06-6482-4111**  
**西長洲町2丁目 35-1 (阪神尼崎駅より徒歩 10分)**

※お車でご来場の場合はアマルネス・ガーデンの駐車場は使用できません

講師 **フランスベッド株式会社**  
参加費 **無料**

「医療と福祉を考える会」は医療、看護、介護に関わる方々に職種を超えてお集まりいただき、ざっくばらんに話しあい、学習する場として開催しています。

今回は、福祉用具の中でも介護ベッドについて、選ぶポイントや使い方などをフランスベッド株式会社様よりご紹介いただきます。最新の介護ベッドの展示も行います。

アマルネス・ガーデン様からは、兵庫県内で最初に導入された最新のリハビリ機器「スペースワンダー」のご紹介もお願いしています。

医療・看護・介護にかかわるすべての皆様、お気軽にご参加ください。

※お問合せは 兵庫県保険医協会事務局 沖野・石本・林 TEL:078-393-1805 まで

**【お申し込み】FAX:078-393-1802 尼崎支部 第105回医療と福祉を考える会 (6/27)**

参加者ご氏名	職種

医療機関・事業所名( )

代表者名 ( ) TEL ( )

# 兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

438号

2024年5月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部  
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

診療報酬改定研究会 - 歯科 -

## 歯科医療現場の実態とかけ離れた改定

# 歯科医療の総枠拡大を

6月の診療報酬改定を前に協会は、歯科診療報酬改定研究会を県下各地で開催、尼崎では4月7日(土)の都ホテル尼崎で協会歯科部会社保対策講師陣が講師を務め、103医療機関から118人が参加した。歯科部会講師陣が、改定内容のポイン



参加者から「解説が大変わかりやすい」と好評を得た

トをわかりやすく伝えるとともに不合理点を解説。研究会の最後には、再改定で基本診療料・基礎的技術料を大幅に引き上げることや不合理是正、健康保険証の存続を求める決議を拍手で採択した。

研究会では、今次改定は政府がベースアップ評価料という診療報酬になじまない点数を新設し、賃上げの責任を医療機関に押し付けることや、マイナ保険証活用推進の旗振り役を医療機関に押し付け負担を強いるなど、歯科医療の充実や現場の実態とかけ離れた内容であると報告した。

その上で改定のポイントとして、歯科外来診療環境体制加算(外来環)、かかりつけ歯科機能強化型歯科診療所(か強診)などの施設基準の改変、クラウン・ブリッジ維持管理料の対象範囲の縮小、訪問診療料の人数区分を細分化し4人以上をマイナスにしたことなどを詳しく解説した。医科診療報酬改定研究会は前号で報道。

アスベスト被害からのちと健康を守る尼崎の会・第17回総会

# 疫学調査で甚大なアスベスト被害が改めて明らかに 情報発信と相談活動を強めよう

協会尼崎支部も参加する「アスベスト被害からのちと健康を守る尼崎の会」(会長:潮江診療所所長・船越正信先生)は4月20日、尼崎市内で第17回総会を開き、35人が参加した。会長に船越先生、代表委員に綿谷茂樹協会尼崎支部長が再任、森岡芳雄協会環境・公害対策部長のメッセージが紹介された。



尼崎市民のアスベスト疾患リスクを周知しようと挨拶する船越先生(左奥)

会務報告では、今年3月に尼崎市が開いたアスベストセミナーで発表された中皮腫リスク評価研究データが紹介された。それによると、尼崎市民の中皮腫死亡比は全国よりも高い(男性4.6倍、女性10.4倍。労災認定者を除く)ことや、特にアスベスト粉塵を大量に排出したクボタ旧神崎工場に近かった小田地区における中皮腫死亡比が高い(男性21.1倍、女性68.6倍)ことなどが明らかになっている。

こうした甚大な被害の原因は、(株)クボタが健康被害を把握していたにもかかわらず1954年から1995年までの41年間にわたって大量のアスベストを使用し続けたことと、企業を後押しした国の産業政策にある。

多くの市民がアスベスト関連疾患のリスクを負っていることは明らかであり、尼崎アスベストの会では定期的にアスベスト検診を受診することを市民によびかけるとともに、尼崎市に対して工場周辺の学校卒業生などへの個別案内を徹底するなどの対策を要請してきた。

今回の調査結果を受けて、尼崎アスベストの会では市民への情報発信と相談活動を強めることとしている。また、クボタと国に対して、加害責任を認めて被害者全員に謝罪と補償をすること、とりわけ、高いリスク地域に居住していた市民に対しては県外に転居した市民も含めて個別に周知して継続した健康診断体制を確立することなどを求めている。

## ※ クボタショックとは

2005年6月に(株)クボタ旧神崎工場(JR尼崎駅北)で、工場従業員や周辺住民の大規模なアスベスト被害が明らかになった。昨年12月末段階でクボタが明らかにした周辺住民への救済金支払いは393人に及び、クボタ従業員に補償した253人とあわせ、被害者は646人となっているが、クボタ独自の基準が設けられており実際の被害者はもっといるものと思われる。アスベストの潜伏期間は20年~40年といわれており、今後も被害者は増えると予想されている。

アスベストによる健康被害を心配される患者がおられたら下記までご相談ください  
〈アスベストの被害からのちと健康を守る会〉 TEL/FAX: 06-6489-2600 まで

## 第596回幹事会だより

○ 尼崎支部の会員数  
4/1 現在 医科 375 人、歯科 169 人 4月25日(木) 於: 尼崎市医師会館会議室

○ 医療をめぐる情勢と運動対策  
4月からの共済普及・組織強化月間に向けた未入会医療機関・病院勤務医対策、今後の支部企画として医療と福祉を考える会、支部総会市民公開企画について討議し、今回の診療報酬改定での医療機関への影響について意見交流した。

○ 5月日程 5月30日(木) 16:00~ 尼崎市医師会館会議室  
お問い合わせはTEL 078-393-1805 沖野・石本まで

支部会員の先生方へ

**未入会のお知り合いの先生、ご子弟に入会を是非おすすめください**

## — 尼崎支部第53回総会・市民公開寄席特別企画のご案内 —

### 落語&トークの夕べ

## 仏教・医療から考える“生きづらさ”の支え方

日時: 7月27日(土) 16:00 ~ 18:00  
出演: 露の団姫さん 落語家・天台宗住職  
岡本真吾先生 精神科医・むこのそう心の診療所院長  
会場: 尼崎商工会議所7階(尼崎市昭和通3丁目96)  
参加費: 無料

お問い合わせはTEL 078-393-1805 沖野・石本まで



1998年から3万人を連続して超過してきた年間自殺者数が、2020年から3万人を下回り減少傾向でしたが、再びコロナ禍では増加に転じ、現在でも年間2万人を超過しています。今回は、僧侶として悩みを抱える方の相談活動や、自殺防止の発信をされている落語家の露の団姫さんと、精神科医としてメンタルヘルス向上を目指した幅広い活動を活かして診療されている岡本真吾先生に講演をいただきます。また、お2人の対談や団姫さんの落語もお楽しみいただきながら、“生きづらさ”の支え方について考えたいと思います。ぜひご参加ください。

(尼崎支部長 綿谷 茂樹)

## 尼崎支部ニュースへの投稿を募集しています

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802  
e-mail miki-o@doc-net.or.jp 担当: 沖野まで



© Can Stock Photo